

令和4年第5回教育委員会会議 会議録

1 日 時 令和4年11月21日（月）午後1時30分～

2 場 所 男鹿市役所 3階 第一会議室

3 出席者 教育長 鈴木 雅彦
委 員 三浦 良忠
委 員 吉田 貴美子
委 員 目黒 重光
委 員 山王丸 由利絵

4 出席職員 教育総務課長 村井 千鶴子
学校教育課長 笹渕 美穂（欠席）
教育総務課主幹 天野 秀一
教育総務課主幹 伊藤 直子
学校教育課主幹 清水 琢

5 議事日程及び議案

日程第1 第4回会議録の報告・承認

日程第2 会期の決定

日程第3 教育長の報告その他事務事業の報告

日程第4 議事

議案第16号 男鹿市立図書館条例の一部を改正する条例（案）に関する意見について

議案第17号 男鹿市立小中学校通学区域に関する規則及び男鹿市立学校給食共同調理場等管理規則の一部を改正する規則について

議案第18号 令和4年度男鹿市一般会計補正予算（第8号）に関する意見について

日程第5 報告事項

(1) 潟西中学校統合準備委員会の開催状況について

(2) 船越小学校大規模改修事業について

(3) 事務局職員の人事異動について

(4) 教育委員会の定める規程の一部改正について

(5) 令和4年9月定例会における一般質問（教育委員会関連）について

(6) 男鹿市成人式「明日を創る新成人の集い」について

(7) 市内各校のいじめの認知と不登校児童生徒の状況について（9月調査）

(8) 新型コロナウイルス感染症の状況について

日程第6 その他

6 開会宣言 午後1時30分

7 会 期 (自) 令和4年11月21日
(至) 令和4年11月21日 1日間

8 閉 会 午後2時55分

【教育長】

ただいまから、令和4年第5回教育委員会会議を開催いたします。

日程第1、第4回会議録の報告・承認を議題といたします。

前回の会議録の報告・承認につきましては、事前配布により、内容を確認していただいております。委員の皆様から、ご署名をいただきましたので、御異議がないものと認め、承認といたします。

次に日程第2、会期の決定を議題といたします。会期につきましては、本日1日としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【教育長】

それでは、会期は本日1日といたします。

次に、日程第3、教育長の報告その他事務事業の報告をいたします。事務局から説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

(資料に沿って説明)

【教育長】

ただいま、事務局から報告がありました。このことにつきまして御質問等ありましたらお願いいたします。

(「なし」の声あり)

【教育長】

それでは、教育長の報告その他事務事業の報告につきましては、以上といたします。

次に、日程第4、議事に入りますが、議案第16号から第18号までを議題といたします。まず、議案第16号、男鹿市立図書館条例の一部を改正する条例(案)に関する意見について、事務局から説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

資料の3ページをお開きください。議案第16号男鹿市立図書館条例の一部を改正する条例(案)に関する意見について。

男鹿市立図書館条例の一部を改正する条例(案)について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条第1項の規定に基づき、教育委員会の意見を求めるものであります。

提案理由は、男鹿市立図書館条例の一部を改正する条例について、市議会の議決を経るべき事件であるため、教育委員会の意見を求めるものであります。

4ページをご覧ください。祝祭日が続く大型連休等の期間に、図書館が連続して休館とならないよう、図書館の休館日を変更するため、条例の一部を改正する

ものであります。

改正前の部分をご覧ください。現在休館日としている、第6条第1号、毎月第3日曜日、第2号、国民の祝日に関する法律に規定する休日、第4号、毎月第1月曜日及び第3月曜日を、改正後には、第1号で、毎週月曜日ただしその日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その翌日以後の最初の平日とするに改めます。

また、改正前の第6条第3号「12月29日から翌年の1月3日までの日（前号に掲げる日を除く。）」を改正後は第2号とし、括弧部分を削除します。

第6条の改正により、月曜日が休館となったことから、利用時間を定めた第7条第1号「月曜日」を「火曜日」に、第2号「及び土曜日」を「土曜日及び祝日法による休日」に改めるものであります。

この条例は、令和5年4月1日から施行するものであります。説明は、以上です。

【教育長】

ただいま事務局からの説明がありましたが、このことにつきまして御質問ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

はい、目黒委員どうぞ。

【目黒委員】

休館日が毎週月曜日と分かりやすくなりますので、利用者にとっては利用しやすくなるのではないかと、ということで良いことだと思います。改正後も1年間の休館日の日数は同じくらいになると思いますけれども、利用時間等の改正がありますので、この周知の方をよろしくお願いしたいと思います。

【教育長】

はい。改正後の全体の開館日数の増、増減といいますか、もし、変化これぐらいということ、資料があればお願いいたします。

【教育総務課長】

図書館の開館日については、改正前と改正後では、年によりますが、概ね二日前後ですね、変わらない又は二日減るといった程度の休館、開館の状態になる予定です。ただ、今回の改正によりまして、休日の図書館の開館日というのは非常に多くなってきますので、働いている方々の図書館の利用についても大変利用しやすくなってくると考えております。

【教育長】

今、目黒委員から御指摘ありましたように、いつ、図書館が閉館日なのかということが、今回改正で、非常に分かりやすくなるのではないかなと思います。

図書館の方で、県内の他の自治体の図書館の運用状況についても詳しく調べていただきまして、やはり日曜日だとかは、利用される方が多いようですので、日曜日は開館すると、市民の利便性は向上するということと言えるのではないかなと思います。

他に御質問ございましたらお願いいたします。

（「なし」の声あり）

【教育長】

それでは、御質問ないようですので、議案第 16 号は、異議なしとすることに御異議ございませんでしょうか。

（「はい」の声あり）

【教育長】

御異議ないようですので、議案第 16 号は承認とさせていただき、令和 4 年 12 月男鹿市議会定例会に提案となります。

次に、議案第 17 号、男鹿市立小中学校通学区域に関する規則及び男鹿市立学校給食共同調理場等管理規則の一部を改正する規則について、事務局から説明をお願いします。

【教育総務課長】

それでは、議案第 17 号男鹿市立小中学校通学区域に関する規則及び男鹿市立学校給食共同調理場等管理規則の一部を改正する規則について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 15 条第 1 号の規定に基づき、男鹿市立小中学校通学区域に関する規則及び男鹿市立学校給食共同調理場等管理規則の一部を改正する規則を別紙の通り制定するものであります。

提案理由は、潟西中学校の閉校に伴い、関係規則の一部を改正するものであります。

第 1 条は、男鹿市立小中学校通学区域に関する規則の一部を改正するものです。同規則第 2 条関係の別表中、潟西中学校の項を削除し、男鹿東中学校の通学区域の欄の払戸小学校の次に、美里小学校を追加するものであります。第 2 条は、男鹿市立学校給食共同調理場等管理規則の一部を改正するものです。対象学校を定めた第 2 条の男鹿市立若美学校給食センターの項中「美里小学校、潟西中学校」とあるところを「美里小学校」に改めるものであります。この規則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行するものであります。以上です。

【教育長】

ただいま事務局から説明がありましたが、このことにつきまして、御質問ありましたらお願いいたします。

潟西中学校の来年 4 月 1 日の男鹿東中学校への統合ということに伴う、規則の改正ということになりますけども、御意見、御質問ございましたら、お願いいたします。

（「なし」の声あり）

【教育長】

それでは、御質問ないようですので、議案第 17 号は、原案の通り決定することにより御異議なしということによろしいですか。

（「はい」の声あり）

【教育長】

それでは、御異議ないようですので、議案第 17 号は、原案の通り決定いたします。

次に、議案第 18 号、令和 4 年度男鹿市一般会計補正予算第 8 号に関する意見に

ついて、事務局から説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

議案第 18 号、令和 4 年度男鹿市一般会計補正予算第 8 号に関する意見について。

令和 4 年度男鹿市一般会計補正予算第 8 号のうち、教育委員会関係補正予算を別紙の通り作成したので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条第 1 項の規定に基づき、教育委員会の意見を求めるものであります。

提案理由は、令和 4 年度男鹿市一般会計補正予算第 8 号のうち、教育委員会関係補正予算について、市議会の議決を経るべき議案の作成に当たり、教育委員会の意見を求めるものであります。

10 款教育費、1 項教育総務費と 2 項学校総務費、3 項小学校費、4 項中学校費、5 項社会教育費、6 項保健体育費の中に、報酬、給料、職員手当等、共済費、旅費について、増減の予算を補正しておりますが、こちらの予算については、本年度の当初予算編成時において、令和 3 年度の職員配置により積算していた人件費予算について、本年度配置による予算へ変更したということと、人事院勧告によりまして、給料表の変更があったものを反映したものであります。

3 項小学校費、4 項中学校費、5 項社会教育費、6 項保健体育費のそれぞれの 10 節需用費、光熱水費の増額は、電気、ガス料金の値上げに対応するため、予算を措置するものであります。

4 項中学校費、1 目学校管理費、17 節備品購入費は、乗用草刈機の購入予算となっております。

男鹿東中学校で現在使用している乗用草刈機は、平成 26 年に購入したもので、修繕を繰り返して使用してまいりましたが、これ以上の修繕が見込めないことから、来春の環境整備に支障がないよう、今年度中に購入をするため、予算措置するものであります。

以上の補正によりまして、1 項教育総務費は 332 万 2,000 円の減額で、補正後の予算額は、1 億 8,103 万 7,000 円、2 項学校総務費は、31 万 9,000 円の追加で、補正後の予算額は、5,952 万 9,000 円、3 項小学校費は、265 万 4,000 円の追加で、補正後の予算額は、2 億 353 万 3,000 円、4 項中学校費は、1,291 万円の追加で、補正後の予算額は、1 億 5,891 万 1,000 円、5 項社会教育費は、175 万 3,000 円の追加で、補正後の予算額は、1 億 6,424 万 1,000 円、6 項保健体育費は、227 万 7,000 円の追加で、補正後の予算額は、8,165 万 3,000 円となります。説明は、以上です。

【教育長】

ただいま事務局から別紙に基づきまして説明がございました。学校あるいは公民館施設を通して光熱水費の補正が相当な額ということで説明がありましたけども、御質問ございましたらお願いいたします。

【山王丸委員】

私もその点が気になりまして今後も値上げが続くと思うのですが、市としてはどのように、取組とか何か考えているのかどうか。

【教育総務課長】

ガス料金ですとか電気料金については、今後も各ご家庭も同じなんですけれども、どんどん値上がりしていくのではないかと考えられております。ただ上がるだけ補正をどんどんしていけるかというと、できない部分もありますので、各学校での節約についても協力をいただきながら、使うべきところは使い、使っていないところは小まめに消灯をしていただくなどの協力をいただきながら、この後3月に向けて調整していかなければいけないと考えております。

ただ今回また足りないということがあれば、もしかすれば3月補正において、また光熱水費の増額をお願いしなければいけない事態も考えられるので、こちらの方については、社会情勢ということもありますので、市全体の考え方ということになるかと思えます。

【教育長】

清水主幹、学校対応で何か考えていますか。ありましたら、お願いします。

【清水主幹】

今、村井課長が話したように、学校に行っても、使うべきは使うんだけれども、やっぱり抑えるべきところ、これから、照らし出して行って、それで対応していくということになるかと思えます。以上です。

【教育長】

この後、今もそうですけども、コロナ対応で、1時間に10分程度は教室の窓を開けるということをやっておりますけども、温めた室内の室温が下がると、また暖房ということで、やむを得ない場合も確かにありますけども、節約ということで、例えば、体育だとか音楽のように特別教室で行う場合は、電気の消し忘れがないようにということとか、そういうことをまた学校の方にも徹底をしていきたいと思えます。

ほかにございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【教育長】

それでは、御質問ないようですので、議案第18号は異議なしということで、御異議ございませんか。

(「なし」の声あり)

【教育長】

御異議ないようですので、議案第18号は承認とさせていただきますして、令和4年12月男鹿市議会定例会に提案となります。

次に、日程第5、報告事項になりますが、報告事項を(1)から(8)までを一括して報告してもらいます。事務局から説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

それでは、報告事項(1)潟西中学校統合準備委員会の開催状況について御説明いたします。統合準備委員会は、第3回を9月30日に、第4回を11月4日に開催しております。

第3回では、男鹿市立潟西中学校閉校式典について協議しております。閉校式

の流れや出席者、式に参加できない地域の方へ閉校式の様子などをお知らせする方法についても協議しております。潟西中学校の閉校式は、12月23日金曜日を予定しております。

また、潟西中学校で実施している菜園活動の継続方法や、スクールバスに関する道路の除雪、乗降場所についても協議しております。

第4回では、スクールバスの運行について、制服・体育着等について、閉校式について、交流学习会の進捗状況についてを協議事項としまして、資料記載の通り御意見をいただいております。まだしっかり詰められていない部分もありますが、今後さらに検討を加えて決定してまいりたいと考えております。

次に、報告事項(2)船越小学校大規模改修事業について、船越小学校大規模改修実施設計業務の二次審査を9月16日に実施いたしました。一次審査を通過した企業体5社から提案された技術提案書、費用見積書及びプレゼンテーションによる総合的な評価により審査をしております。

副市長を審査員長とし、教育長、理事、秋田地域振興局建設部次長、吉田教育委員、船越小学校長に審査いただいております。

その結果、秋田市の有限会社村田弘建築設計事務所と東京都の株式会社スターパイロッツによる共同企業体が委託事業者に決定しております。実施設計契約額は、3,960万円で、10月7日に契約を締結しております。

なお、提案内容での改修事業費は11億8,600万円となっております。

同社の技術提案書を配付させていただいておりますが、現在、同社と市建設課、船越小学校長、教育委員会で実際の改修について協議をしているところです。今後、方針決定、全体概算工事費の積算を経て、12月中の基本設計の決定を目指してまいります。年が明けて1月にはオープンハウスを実施し、年度中に実施設計の完成となります。来年5月から6月に大規模改修工事の入札工事に向け事業を進めてまいります。

次に、報告事項(3)職員の人事異動について、男鹿市教育委員会事務委任規則第4条の規定に基づき、教育委員会事務局会計年度任用職員の任免について専決しましたので報告いたします。

初めに、退職です。船川北公民館の職員から退職願があり、10月5日付けで職を免じております。

次に、採用です。船越小学校に、9月13日から学校生活支援員を採用しております。日本語支援を要する児童の転入に伴う配置となります。

次に、報告事項(4)教育委員会の定める規程の一部改正について、男鹿市教育委員会事務委任規則第4条の規定に基づき、教育委員会の定める規程の一部改正について専決しましたので報告いたします。改正理由は、潟西中学校の閉校に伴うものです。専決日は、令和4年11月14日です。

初めに、男鹿市教育委員会が管理する個人演説会の施設の程度及び納付すべき費用の額の一部改正です。

公職選挙法施行令第119条第2項及び第121条の規定による個人演説会の施設の程度及び納付すべき費用の額を定めた表中、潟西中学校の項を削除するもので

あります。

男鹿市スクールバス運行管理規程の一部改正についてです。スクールバスの利用範囲を定めた第2条第5号中「潟西中学校」を「男鹿東中学校」に、鮎川の次の「及び三本松」を「、三本松、角間崎、鶴木、松木沢、本内、福米沢及び野石」に改めるものであります。

また、車両管理者を定めた第5条中「潟西中学校」を「男鹿東中学校」に改めるものであります。いずれも令和5年4月1日から施行するものです。

次に、報告事項(5)令和4年9月定例会における一般質問について、9月定例会では、教育委員会関連で3名の議員から一般質問がありました。

小野肇議員からは、新型コロナウイルス感染症対策と学校給食費の無償化について質問がありました。新型コロナウイルスへの感染防止対策については、二酸化炭素濃度測定器のすべての教室への整備を進め、感染予防に向けた取組を一層充実させていくと答弁しております。

また、学校給食費の無償化については、経済的な支援を要する世帯の学校給食費は、就学援助費や生活保護費として公費で負担しているほか、物価高騰による食材費高騰には、保護者に新たな負担を求めず、公費で対応するよう予算化していることから、学校給食法に規定した負担区分の原則にのっとり、保護者に負担していただくことが基本と考えていると答弁しております。

次に、佐藤誠議員から、小中学校のデジタル業務軽減について質問があり、令和5年度からの活用に向け、文部科学省が開発を進めている学びの保障、オンラインシステム「メクビット」の導入を進めること、タブレット端末を家庭へ持ち帰る際は、健康面や防犯上の安全の観点から、携帯品の軽量化についての情報提供を、各校へ行っていくと答弁しております。

次に、蓬田司議員から、中学校の休日における運動部活動の地域移行について質問があり、休日の部活動の地域移行は、生徒、保護者、教員、そして地域社会に関わる大きな改革であるが、生徒の幸せを実現することを最優先としてきめ細かく協議を進め、教員の働き方改革や、地域スポーツの振興にもつながるような制度設計となるよう、運動部活動の地域移行に向けた準備を進めていくと答弁しております。

次に、報告事項(6)男鹿市成人式、明日を創る成人の集いについて、申し訳ございませんが資料の訂正をお願いいたします。

表題では、明日を創る新成人の集いとなっておりますが、「新」という字を削除願います。

本年4月の民法の改正によりまして成人年齢が18歳に引き下げられたことを受け、事業名を新成人から成人としております。

また、資料の一番下の参考の部分で、平成29年度男鹿市内、4中学校卒業生としておりますが、平成28年度に訂正願います。

それでは成人式について報告いたします。

本年度の成人式は、令和5年1月8日、日曜日、午後1時から男鹿市民文化会館大ホールで開催いたします。内容は、市主催となる式典と実行委員が主催となる

集いの二部構成です。現在 11 名の実行委員が打合せを重ね、準備を進めております。今年度の対象者は、平成 13 年 4 月 2 日から平成 14 年 4 月 1 日に生まれた、本年度中に 21 歳の誕生日を迎える方が対象です。表には本年 6 月 1 日時点での対象者を記載しておりますが、この後発送する案内状の送付は、11 月 1 日現在の男鹿市在住者を代表に対象に送付してまいります。132 人の住民登録がある予定です。

また、例年と同様に、男鹿市に住所はないのですが、市内の中学校を卒業したという方も参加可能となっております。対象年度の卒業生は、4 校合わせて 184 名おりました。教育総務課からの報告は以上となります。

【教育長】

続いて、学校教育課関係、清水主幹お願いします。

【学校教育課主幹】

報告事項(7)市内各校のいじめの認知と不登校児童生徒の状況についてです。

本市で年 4 回、各校より報告を求めている、いじめと不登校に関する定期報告、9 月 1 日提出分について報告いたします。

6 月 1 日から 9 月 1 日までの間に、小学校 77 件、中学校 4 件のいじめの認知がありました。昨年度の同時期は、小学校で 46 件、中学校で 1 件でしたので、認知件数は大きく増えています。

内容としましては、冷やかしかからかい、悪口やおどし文句、嫌なことを言われるが最も多く、続いて、軽くぶつかられたり遊ぶふりをして叩かれたり蹴られたりするが多くなっておりますが、このたびは、仲間外れ、ひどくぶつかられたり、ぶたれたりする、金品を隠されたりする、という悪質ないじめが多くなっております。各校でその都度指導をしておりますが、低学年から繰り返し指導してもらっているがなかなか改善しないという保護者からの相談も今年度は増えております。

改善していかない原因は様々であります。子供、保護者、教師が、感情論だけに終始せず安心して学校生活を楽しむことができる学級づくりのために、どのような方策があるかという視点で対応していけるように学校に助言しているところです。

これからも、いじめを積極的に認知するとともに、早期発見、即時対応を心がけ、重大化を防ぐことができるよう、学校と連携しながら取り組んでまいりたいと思います。

続いて、不登校の現状です。現在、不登校の児童生徒が 16 名、不登校傾向が見られ注意深く経過を見守っている児童生徒が 6 名おります。6 月 1 日以降、新たに不登校となった児童生徒が 4 名、不登校傾向が見られる児童生徒が 1 名おります。

潟西中学校の不登校であった生徒に回復の傾向が見られ、学級で過ごすことが多くなり、不登校傾向としての見守りに変更となりました。

依然として、家庭でのひきこもりが多いですが、別室登校やオンライン授業など、動きが見られる児童生徒も増えてきております。今後も、個々の実情に合わせ

て、きめ細やかな対応を心がけていきます。

次に、報告事項(8)新型コロナウイルス感染症の状況について、8月から10月までの感染状況を報告いたします。

8月は、夏季休業中でありましたが、58名と7月の28名より大幅に増加しました。9月は43名、10月は159名が感染し、この間に11回の臨時休校の措置を講じております。

主な感染源は家族感染ですが、感染に気がつかずに登校し、学級内で感染が拡大した例もありました。本日机上にお上げた資料をご覧ください。11月は、本日10時時点、60名でしたが、昼休みに報告がありましたので、プラス3名で63名になっております。

また、現在自宅療養中の31名もプラス3名の34名が自宅で療養中となります。4月からの累計では、小学生の約40%、中学生の約25%が感染したことになります。冬場は換気がおろそかになりがちのため、各教室に二酸化炭素モニターを設置し、換気の状態を可視化しながら対応しているところです。

なお、二酸化炭素モニターは、6校においてはすべての普通教室に設置済みですが、3校は、現在発注が終わり、設置を待っているところであります。今後も感染防止対策の徹底を図ってまいりたいと思います。以上で終わります。

【教育長】

ただいま、事務局から教育総務課関係6件、学校教育課関係2件について説明ございました。御質問ございましたらよろしくお願いいたします。はい、目黒委員さんどうぞ。

【目黒委員】

学校教育の方2件お願いします。船越小学校大規模改修事業についてでありますけれども、現在、色々な円高等の影響で、材料費の方が日増しに高騰しているの、なかなか専門の方でも読めないところが多いと思いますけれども、現在示されている改修工事11億8,600万円となっておりますけれども、これはまた大幅に増額するというような心配もあるのかどうか、その辺教えていただきたいと思います。

それからもう一つ、教育委員会で管理する個人演説会の施設の程度及び納付すべき費用の額の一部改正ですけれども、潟西中学校を削除するということですが、この黒の枠ですね、前のページを見ますと、学校の部分全体を改正するという形になっていますが、それとも（略）の下だけを太枠で改正するものなのか、その辺を教えてください。

【教育総務課長】

船越小学校の大規模改修工事、現在の提案では、11億8,600万ということになっているんですけど、今、船越小学校と話し合いをする中で、この提案されたものではどうしても使い勝手が学校としては良くないですとか、もうちょっと水道の手洗い場をふやして欲しいですとか、トイレの個数をこうして欲しいというような話し合いをしているところで、こちらの提案よりは、やはりちょっと大分、設計変わってくるかと思っております。

あと業者さんからも、価格の高騰ですね、この後の物価の高騰によりまして、原材料費の価格高騰は避けられないだろうと言われておりまして、教育委員会としては、今回新築ではなく改修だということも受けて、財政状況も考えて、当初予定していた 12 億は超えないような改修を目指して協議していきたいなと考えているところです。

それから、演説会の表のところなんですけれども、納付すべき額、費用の額という一番右側の欄があるんですが、ここが無料というのがすべての小学校中学校にまっすぐ延びてしまっている欄になっておりましたので、その関係で先頭の船川第一小学校から潟西中学校までのすべてを囲むというか変更する形で囲ませていただいております。

【教育長】

今のお答えありましたけども、目黒委員さん、どうでしょうか。

【目黒委員】

はい。わかりました。ありがとうございます。

【教育長】

船越小学校の大規模改修につきましては、おそらく今後の円安ですとかそれに伴う材料費の高騰等も予想されますけども、村井課長の方から答弁ございましたように、当初の額の範囲内で収まるような形でまず進めていければなと考えております。他にいかがでしょうか。

村井課長、成人式、1 月 8 日予定しておりますけども、教育委員さんに説明する機会は最後になりますけども、万が一中止せざるをえないような状況といえますか、どういう状況であれば、当日の実施を見送るというような、現段階での考え方について報告いただければと思います。

【教育総務課長】

成人式の開催の可否については、11 月 16 日の政府の方針では、この夏のコロナの拡大の時期であっても、経済活動を止めずに乗り切って一旦は少なくなったということと、ワクチン接種が徐々に進んでくるであろうということで、この後なかなかこう経済を止めないようなコロナとの付き合い方をしていく方針だというふうに発表されています。

ただ、成人式の時にどのような状況になっているかは、ちょっと分からないんですが、県の方で行動自粛の宣言を出したり、国の方から医療が逼迫しているので行動規制するというような宣言があった場合は、市として、成人式の開催については中止または延期について考えていかなければいけない事態だと考えております。

そういった宣言等が発令されない中であっては、成人式というのは普段会わない人たちが地域で会う機会となりますので、普段会っている人同士の生活とは違ったコロナの拡大の危険があるという行事であるということを念頭に置きまして、コロナの感染拡大の防止の対策を徹底した上で、現状では、成人式は実施していきたいと考えております。

【教育長】

はい、ありがとうございました。他に御質問ございましたらお願いいたします。
三浦委員、何かございましたらお願いいたします。

【三浦委員】

成人式の開催で国や県からの宣言があった場合に検討するということだったんですけれども、参加される皆さんに対して、例えば、抗原検査をしていただくとか、そういった形の対策はとられるように、今考えてやられているのでしょうか。

【教育総務課長】

現在のところ、やはり県外から来る成人の方もいるかと思うんですけれども、男鹿市としては、例えばワクチン接種を何回までを義務づけるとか、必ずPCR検査をしなければ出席できないというような条件はつけずに、成人式の間は、席を必ず一つずつ空けて着席をしますし、マスクは絶対に徹底ということで実施しますので、ワクチン接種の回数ですとかPCR検査を絶対してくるということは現段階では考えておりません。

【教育長】

三浦委員さんよろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。吉田委員さん、コロナ関係で何かご質問ありましたら。

【吉田委員】

コロナの関係についてですけども、私の方でも、行動制限とかもうしていなくて、経済を回すという方に舵を切って生活が回っているのもう感染は仕方のないことかなって思っています。手洗い、うがい、マスクの徹底それ以外で、まず特効薬がすぐ入手できるような状態ではないので、感染させないように努力する以外ないと思います。

男鹿のこの状況を見て、感染された方とかもたくさん出てきてはいましたけども、差別とかいじめとかもなく来たのではないのかなと思って、感染した方も感染したっていうのを簡単に言えて、こういうのに気がついた方がいいとか、熱とか出なかったけども陽性だったよとか、どういうところで検査ができたよなんていう情報交換をしながら皆さん生活できて、それぞれ各家で乗り越えてきているのかなと思って、私はそういうふうに見ていました。引き続き、まず自分たちでできることを一生懸命やっていたきたいなと思います。

中学3年生は受験も控えていますので、インフルエンザであったり、コロナの方も、なるべくかからないように、自分の望むところに受験ができるように、学校の方もですし、家庭の方でもサポートしてあげて、この冬を乗り切っていただきたいなと思います。

【教育長】

ありがとうございました。今第8波の入口ではないかなというような情報もありますけども、まず学校では、マスク着用それから手指消毒、できることを続けると、それ以上のことはなかなか難しいと思いますので、日々のやるべきことを徹底していくということで、何とか感染拡大防止につなげてまいります。山王丸委員さんは何かございますか。

【山王丸委員】

今のコロナに関して、私はちょっと別の観点から、以前から懸念していることありまして、かなり気になっていたんですけど、なかなか言い出せなくて、ただ最近になっていろんな書籍、書物などで出版されるような機会増えたので、ちょっとお話ししたいなと思って、まとめてきたんですけど。コロナの流行が始まって、3年経つじゃないですか、例えば、マスクをつけること学校でマスクをつけるのが義務化ですよ、実際のところ。あとは黙食ですとか、そういうことに、それでいいのかなって、保護者の一立場から思っているんですね。

例えば、成長期の子供にとってコロナにかかるリスクと、ずっとマスクをつけていなければいけないリスク、どっちの方が大きいんだろうって、すごい心配がありまして、例えば、大人のこの3年と、成長期にある子供の3年間の重みとか影響力って、すごく、違うと思うんですね。

最近、読んだ本ですと、教育の専門の先生なんですけど、「マスク社会が危ない」という本があるんですけども、例えば、すごく矛盾を感じるのは、大人がもう会食とかで、マスクを外して普通に食事をしているのに、学校給食では、黙食でちょっとしゃべっていると先生に注意される。この間、娘が修学旅行行ったんですけども、修学旅行の先でも黙食、一方方向を見て、すごいなんか、気の毒でしかなくて。

本来は給食の時間って、楽しい時間のはずなのが、給食の時間が嫌いだって。あとは、すいませんちょっと話がごちゃごちゃするかもしれないんですけど、マスク自体も感染を予防するっていう意味でつけているんですが、リスクとか弊害もあって、例えば、雑菌が繁殖するとか、酸素濃度が下がることで人間の免疫とか体力の低下につながっているっていう報告もあります。なので、その今の感染症対策が果たして子供のためになっているのかなっていう。もちろん、感染症対策、感染者を増やさないっていうのが第一、大切だというのは良く分かるんですけども、何かもっと長い目で見てとか、広い目で見て、今のままでいいのかなって感じるのが正直な気持ちです。

娘が中3なので受験なんですけれども、特に行きたい、高校に行きたいという気持ちがあんまり起きないっていうんですね。うちの子だけかなと思ったら、結構、他にも、他のお子さんにもそういう方がいるって聞いて、何というか、楽しい高校生活がイメージできないんじゃないかなって、すごく心配して、教育委員会としてとか学校としては厚生労働省とか文部科学省からの通達があれば、それに従わなければいけないという現実があると思うんですけども、何ていうか、今のままじゃ危ないんじゃないかと、日本の未来が、やっぱり子供をきちんと育てるのが日本にとって大事なことであったので、何ていうか、現場からの声を上に上げることが必要なんじゃないかなって思います。

現場の先生がどういうふうに感じているのかなっていうのは気になるんですけども。私がかかなり前から気になったのはそういうことです。すいません。以上です。

【教育長】

はい、ありがとうございました。コロナ感染対応とも大変重い課題になります

けども、まだ、完全な感染防止策が見つけにくいような状況でもありますので、学校の方でも試行錯誤をしているような状況ではないかなと思います。学校回って行きますと、やはり、マスクを着用していない子供もおります。全部ではないんですけども、何人かおります。

そのことについて、特に、学校の方で強制するということもやってないといいますか、保護者の判断ということもありますけれども、他の子供さんへの影響ということも十分考慮しながら学校の方で進めていると思いますし、体育の授業ですと、マスク着用なしで行うということも、普通と言いますか、遂行状況になっておりまして、学校で判断すべきところは判断しますけれども、文科省なり県教委の方からこういう形でという文書が来ると、それに応じたような対応をとらざるをえないということになります。

国の方では、屋外では必ずしもマスクの着用は必要ないというようなことも打ち出しておりますけれども、登下校も含めて、ほぼ子供たち全員マスクをしています。あと、もしかすれば、マスクをする状況が、もう普通になってしまっているのかなってというような印象受けますけれども、後で、また状況見ながら、我々の方としても校長に伝えますし、国の動きなり県の情報を基に、子供たちのストレスにあまりならないような方法で進めてまいりたいと思いますが、給食の黙食については、清水主幹、何か情報はありますか。

【学校教育課主幹】

今おっしゃられた通り、給食の黙食は、まだ続いておりまして、今、教育長もお話しされましたけれども、少しでも感染のリスクを減らすために、給食の時はお話ししないようにってことで向きを変え、または、完全にお話をしないということで、まだそれは継続しております。

お話されている、そういうお考えの方も、さっきお話あったようにいらっしゃいますので、それが、我々もそうですし、その方ももちろん子供にとって何が一番であるかっていうことを心配した上での色んな御意見があると思います。

その中で今できることを、さっきお話あったように、少しでも感染減らすために今できることは、それが正解なのかどうか分からないんだけど、積み上げていくことを今行っているの、もし今後色んな御意見があって、また、文部科学省なり、厚生労働省なりっていう通達が出た場合には、それにまた倣う感じかと思いますが、そういう声を聞かせていただいてありがとうございます。

【教育長】

子供達のやっぱり心理的な面も含めての健康観察ですね、これはやっぱり大事になると思いますので、熱が出たとかですね、そういった外見上をこう数字として見られるようなこともそうですけども、何となく元気がないとか、かなりストレスを抱えているように見えるなという子供もいるかと思いますが、そこは、担任の方できめ細やかな健康観察、それを続けて、もし万が一子供にそういう何か兆候のようなものがあれば、すぐきめ細やかに対応していくと、それはこの後にも必要になってくると思います。

特に3年生にとってはこの後3月の高校入試に向けて万全の体制で試験に臨め

るような、そういう持っていく方も必要になりますので、併せて学校長の方にも伝えてまいりたいと思います。貴重な御意見どうもありがとうございました。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

【教育長】

それでは、最後になります日程第 6、その他について事務局から何かございますか。はい。村井課長。

【教育総務課長】

この後の教育委員会の行事といいますか教育委員さんをお願いしたい会議の件であります。

総合教育会議という市長が招集する教育に関する意見交換会といいますか、会議がありますが、本年度の総合教育会議は 12 月 14 日を予定しておりまして、この後市長と協議しながら招集していく予定としております。

今回の議題については、中学校の休日における部活動の地域移行についてということで、現在総務課と調整しているところですので、どうぞよろしくお願いいたしますします。

【学校教育課主幹】

南部共同調理場において、令和 4 年 11 月 11 日、調理の際に使用したスライサー、野菜を裁断する機器の歯が一部欠けているのが、給食配送後に発見されました。給食への異物混入が懸念されるために、同機器を用いて調理された棒棒鶏サラダと、麻婆大根の提供を中止しております。

給食提供先は、男鹿南中学校、船川第一小学校、北陽小学校の 3 校で、事故後の対応は、そこに書いてある通りです。

再発防止策としては、スライサーの事前点検、自己点検や安全確認の強化、全調理過程において衛生管理の徹底、目視確認の強化、今回提供できなかった献立につきまして、別の日に代替品を追加して提供ということにしております。

当日、男鹿南中学校では、ちょっと品数が減ってしまってお腹がすきすぎてしまったために、部活を今日はなしということになってしまったので、代替の日をちゃんと設けてまいりたいと思っております。以上です。

【教育長】

その他として二つ、今、説明がありました、総合教育会議、村井課長の方からお話ございましたが、「中学校の運動部活動の地域移行について」をテーマとするということで調整しております。

新しいことになりますので、事前に教育委員の皆様には、参考資料をお届けしたいと思いますので、この流れは、もうこれで進めるということで、全国が動いていますので、土日の運動部活動の地域移行について、いろいろまた当日御意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたしますします。

それから、調理場のスライサーの方は、歯こぼれにつきましては、まず、子供の口に入る前に、発見して、そして、対処できたということで本当に良かったなと思います。

小さな事故を見過ごすことが大きな事故につながってしまいますので、小さい

ことであっても、そのルール遵守ですね、やることをしっかりやるということの徹底をこの後も図ってまいりたいと思いますし、一つの調理場でこういう事案が発生したということは、他の調理場でも起こる可能性は十分考えられるということになりますので、他の調理場についても、今回の事案を報告しておりまして、点検等ですね、毎日のチェックを確実にお願いしたいということで通知をいたしております。

教育委員の皆様から何かご質問ですとかございませんでしょうか。

【教育長】

ないようですので、それでは、以上をもちまして、令和4年第5回教育委員会会議を閉会といたします。大変お疲れ様でした。